

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社 土屋設備 )

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用・教育・福利厚生などあらゆる雇用条件で差別をしない体制を構築している。(資格取得支援の実施)					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8			10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントにより他の労働者に不利益を与えたり職場環境を害さない服務規律を社内規則にて定めるとともに日常的にルールについて話し合っている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8										16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			日報管理をしている。勤務間インターバル制度を導入するなど意識的に防止に取り組んでいる。									8.5 8.8												
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		外国人労働者を雇用していない為非該当 今後採用する予定なし				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3											
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			朝礼を行い、危険性その他にアリングを行い社内共有している。就業規則に則り業務に必要な安全衛生教育を行っている。				3				8													
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			業務以外での会話の機会を設けている。普段と様子が違うように感じた際には社内でも共有することを心がける。				3																	
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			家庭事情に合わせた働き方(時短勤務や時差出勤等)で女性にも積極的に仕事を任せている。長野県社員の子育て応援宣言企業登録し多様な働き方が実現できる働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。					5.1 5.5				8.5			10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			業務に必要な資格・免許(大型特殊免許等)取得への学費支援を行っており、求人情報に掲載し採用活動も行っている。				4	5.5				8	9											
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			就業規則により基本給のうち定額賃金は本人の経験・年齢・技能等を考慮して各人別に決定している。					5.5				8.5			10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			従業員の建設国保加入を行い、1年に1回健康診断を必ず受けている。社内禁煙としている。						3				8											
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物収集・運搬の許可を得ている。マニフェスト制度に則り廃棄物種類・量を台帳管理している。今後も継続して廃棄物の削減に努める。												11.6	12.4			14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			軽井沢町環境ネットワーク会員として電気・ガス・水道・ガソリンなどの使用料を元に二酸化炭素排出量を集計提出しており温室効果ガスの排出量を把握している。							7.3								13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			温室効果ガスの排出量を把握し、今後も削減に取り組んでいく。								7.2 7.3						12.4		13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令等で規制されている有害化学物質を把握し、適切に管理している。				3.9		6.3							11.6	12.4							

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した設備機器等の販売・設置を通じて配慮しながら意識して進めている。						6.6									15			
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			資源利用・再利用に努めているため今後も継続して努めていく。												12.5	14.1					
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			自社の水道使用量を把握している。今後も削減に取り組む。						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ				今後もバイオマス事業に取り組み有用な製品やエネルギーに変換し活用する。						7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ				リサイクル砕石・再生アスファルト合材を使用している。											12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に記載し、社内会議などで継続して社内教育を徹底している。																16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に記載し、社内会議などで継続して社内教育を徹底している。																	16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			自社HP・広告・チラシなど媒体全てにおいて著作権・商標権を侵害しないよう取り組みつつ他者の写真等を使用しないよう継続して気を付ける。								8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			セキュリティー対策ソフトを導入しネットワークセキュリティー対策を強化のうえ社内のデータなどを社外に持ち出すときは車の中に置いたままにしない。シュレッダーの利用。就業規則に記載し、社内会議などで継続して社内教育を徹底している。																	16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		鉱物を扱っていない為非該当																		16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ				取引先との対話や研修会・セミナーを通じて共有し共に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本				「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3					8	9	10							17



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定